

TOPICS

～「おち辰哉」の活動内容をご紹介～
活動速報はホームページをご覧ください。



おち辰哉
公式ホームページ



◀ 勝田マラソン給水ボランティア (1/28)

第72回勝田全国マラソン大会。

今年は冷たい北風が吹くなかでの活動でしたが、労働組合の方々と一緒に約18km地点に給水所を設置し、ランナーの皆さんにキンカンやミニトマトなどの物資を提供しながら、精一杯応援しました。

VOICE

～リレーで綴る村民の声～

私たち子育て世代にとって、地域の支えはとても大切です。保育や教育、医療や防災、そしてエネルギー等あらゆる面で安心して暮らせるまちづくりを進めることが、子どもたちの健やかな成長と明るい未来の実現につながると考えます。

おち議員は子育て支援の充実や、防災対策の強化に尽力されており、私たち親世代にとって頼もしい存在です。これからも真っ直ぐな姿勢と行動力で、東海村をさらに安心して暮らせるまちにしてください！

西 孝王さん (フローレスタ須和間在住)



わかば通信

おち辰哉

東海村議会議員

第69号

2025年春発行

発行人：おち辰哉後援会

日立市幸町2-13-6
(日立製作所労働組合 日立国分支部内)

TEL 0294(26)0183
FAX 0294(26)0186

日頃のご支援に感謝申し上げます。
東海村は、去る3月31日に村発足70周年という大きな節目を迎えました。

これまで周辺自治体が合併を進めてきたなかで、本村は原子力との共存共栄、東海村は東海村として、自立した道を歩んでまいりました。先人たちの、これまでのご尽力に改めて敬意を表しつつ、過去の歴史をしっかりと振り返り、また紐解きながら、10年先、20年先を展望していきたいと考えます。

越智辰哉



～第27回参議院議員選挙～



ひらど こうた
平戸 航太 37歳

電機連合組織内公認候補 (参議院全国比例区)

おち辰哉も応援しています。

編集後記

各地で大規模な山林火災が相次いで発生している。2月下旬の岩手県大船渡市に続き、岡山市、愛媛県今治市など、立て続けに山林火災が発生し大きなニュースとなった。

例年、春先は乾燥して草や枝葉が燃えやすく、強風も相まって広範囲に広がりやすい。一昨年に発生した山林火災は全国で1,299件、うち半数を超える679件が2月から4月に集中しており、主な出火原因としては、焚き火や野焼きなど人為的なものが大半であるが、落雷や枝葉の摩擦熱などによる自然発火も珍しくないとのこと。

海外に目を向けると2019年のオーストラリア、2023年のハワイ・マウイ島での大規模山火事などが記憶に新しいところ。これらの火災では、人的被害もさることながら、絶滅危惧種に指定されている動物たちの生息域も消失し、生態系への影響も危惧されている。

こうした大規模化する森林火災の背景には、地球温暖化による「気候変動」が影響していると指摘されているが、私たちに出来ることは何か。 (す)

NEWS ～東海村行政の身近なニュースをお伝えします～

防犯対策の住民支援が予算化

近年、全国各地で“闇バイト”による強盗被害や特殊詐欺被害などが相次いで発生しており、また犯罪の手口も巧妙化・凶悪化するケースが増加しています。

こうした背景から、住民の不安が日増しに高まっているとして、**おち議員は令和6年6月議会の一般質問において、「防犯対策に資する住民支援を行うべき」と主張。**村執行部に対して、防犯カメラやカメラ付インターホンの設置にかかわる費用の一部を村が補助する制度の予算化を求めていました。

この提案を受けて、東海村では安心・安全なまちづくりを推進するため、**令和7年度の新規事業として「住宅防犯対策補助金」が予算化されました。**この事業は防犯カメラなどを購入する際の経費の1/2(上限2万円)を村が補助するものです。

当該事業の予算化が、住民不安の払しょくにつながることを期待します。



※写真はイメージ

過去最大規模の予算案 一般会計 239.47億円を可決



東海村わかもの会議の様子 ※村ホームページから引用

令和7年3月定例会を3月3日から27日までの会期で開きました。

今議会では、「こども・わかもの応援給付金」を含めた令和7年度予算案など全54件の議案について慎重審議し、すべて原案のとおり可決しました。

真に必要な予算は「枠外経費」?

令和7年度一般会計の予算規模は239.47億円であり、実に前年度比10.7%増の過去最大の予算規模となりました。

村税収入がほぼ横ばいの見通しのなか、歳出規模が膨らんだことにより、不足分の多くはこれまで積み上げてきた貯蓄である財政調整基金に頼ることとなります。

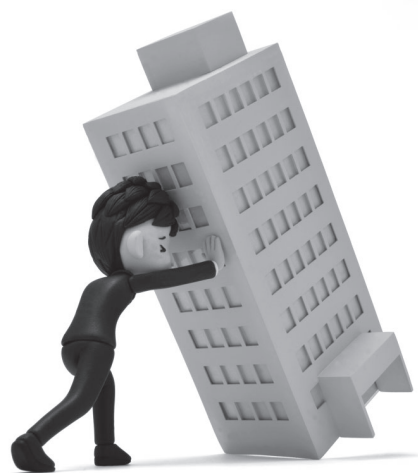
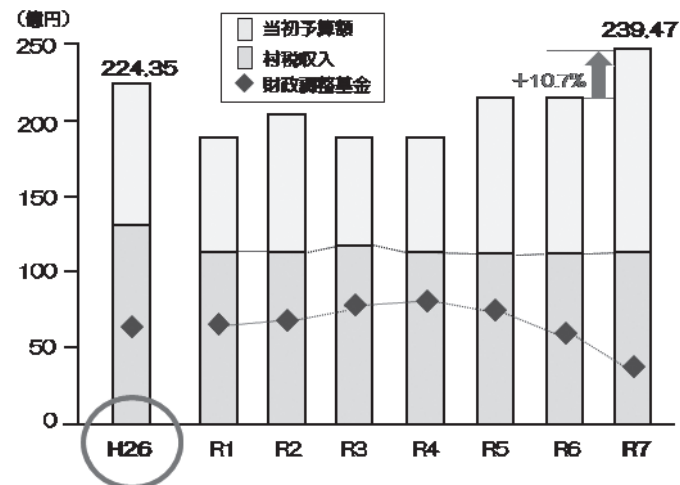
「なぜ、ここまで規模が膨らんだのか」という問いに対して、村発足70周年に関連する事業や村の新たな計画である”まちづくりの羅針盤”をスタートさせるにあたり、真に必要な予算を「枠外経費」として予算措置したことが主な原因とのことでした。

このように、今後、本村における財政健全化が損なわれる可能性も否定できないことから、今議会の予算審議では、これまで以上に厳しい目で事業を細かくチェックしました。

その結果、例えば、既存事業のなかには自動車排出ガス調査委託料(883万円)など、他自治体と比較すると調査対象の地点数が多く、過剰な調査と言わざるを得ないような予算が見受けられました。

また、令和7年度の新規事業では、例えば跡地の利活用が未定の旧合同庁舎の解体工事(5,900万円)、駅前の賑わいを創出するためのアイヴィルのシェアキッチンの導入工事(1.17億円)など、事業そのものの方向性は認めるものの、次年度以降に先送りすることが可能とも思われる予算も見受けられました。

今後、村執行部に対しては「真に必要な予算」の定義を明確化するとともに、さらなる歳出抑制や事業の選択と集中を本気で推進することを求めています。



令和7年度の新規・重点事業

●こども・わかもの応援給付金(2億7,900万円)

教育費等に係る負担が増加していることから、子どもや若者の学びや挑戦の機会を支援するために、高校生までのこどもがいる家庭に対して1人年額6万円を給付します。

※支給月は毎年10月を予定



●带状疱疹ワクチンの接種費用助成(806万円)

令和7年4月から定期接種(65歳の者)として実施される带状疱疹ワクチンの接種について、定期接種の対象とならない方に対しても補助することで、経済的負担を軽減し重症化を予防します。



●コミュニティセンターのバリアフリー化(704万円)

2階建てコミセンにおけるバリアフリー化を推進するため、石神・村松・白方コミセンのエレベーターを整備します。

※令和7年度は設計委託料のみとし、令和9年度までの3ヵ年で整備



●新舟石川保育所の整備(620万円)

施設の老朽化対策および保育の受け皿確保を目的として舟石川保育所の移転建て替え(リース方式)を行います。

※令和7年度は建設用地の賃借とリース発注のみとし令和9年度の開所を予定



村発足70周年の事業予定

令和7年度は村発足70周年のメインイヤーを迎えることから、下記に示す事業のほか全16事業を展開し住民の皆さまの記憶に残る70周年にする予定です。

記念式典前夜祭 7月5日(土)

村ゆかりのアーティストのクラシック音楽とプロジェクションマッピングとのコラボ記念コンサートほか

記念式典 7月6日(日)

村発足70周年記念特別表彰や名誉村民の称号贈呈ほか

東海まつり花火大会 8月10日(日)

久慈川河川敷に場所を移動して約7,000発の花火を打ち上げ

プレミアム付き商品券の発行

村内店舗で使用できる商品券(購入5千円で8千円分使用可)を10,000セット発行

70周年を学校給食でお祝いしよう

70周年記念ロゴマークを使った給食メニューを月1回提供

